

## 26年2月のユーロ圏の総合PMIは 3か月ぶりに上昇



### 欧州経済

- 企業の景況感は概ね良好。26年2月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は51.9と前月（51.3）から上昇した。総合PMIの上昇は3か月ぶり。
- 個人消費は足元で改善が足踏みしている。1月のユーロ圏小売売上高指数は前月比-0.1%と5か月ぶりに低下した。
- 物価は安定的に推移している。2月のユーロ圏消費者物価指数は前年比+1.9%と、前月の同+1.7%から伸びが若干高まったものの、ECB（欧州中央銀行）が目標とする2%を引き続き下回った。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。

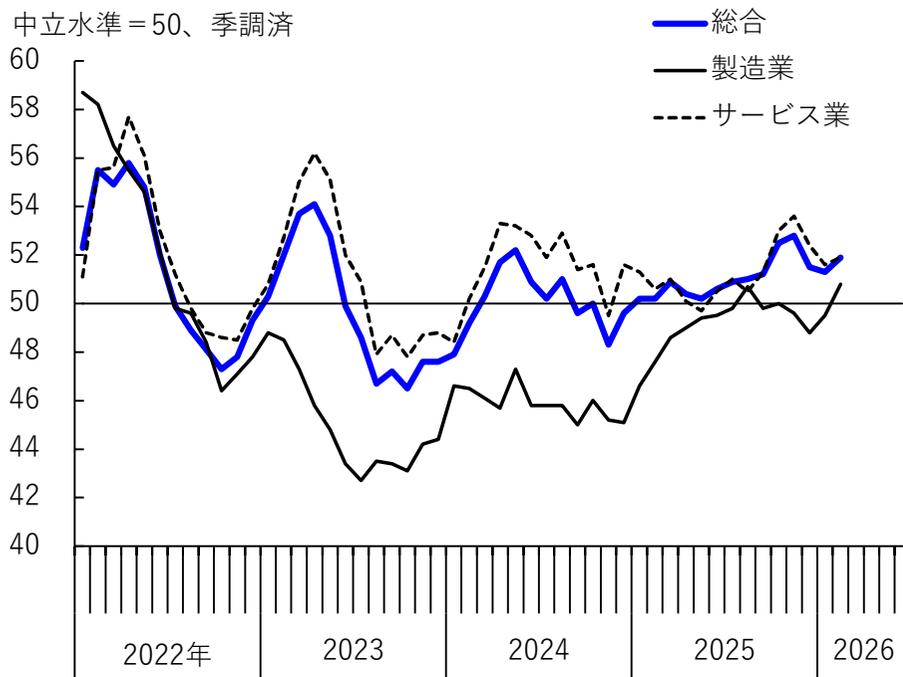




- 企業の景況感は概ね良好。26年2月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は51.9と前月（51.3）から上昇した。総合PMIの上昇は3か月ぶり。
  - 業種別には、製造業が50.8（前月は49.5）と2か月連続で上昇し、好不調の節目となる50を上回った。またサービス業は51.9（前月は51.6）と3か月ぶりに上昇した。
- 2月の各国別の総合PMIをみると、ドイツが53.2（前月は52.1）と2か月連続で上昇した。またフランスも49.9（前月は49.1）と3か月ぶりに上昇した。

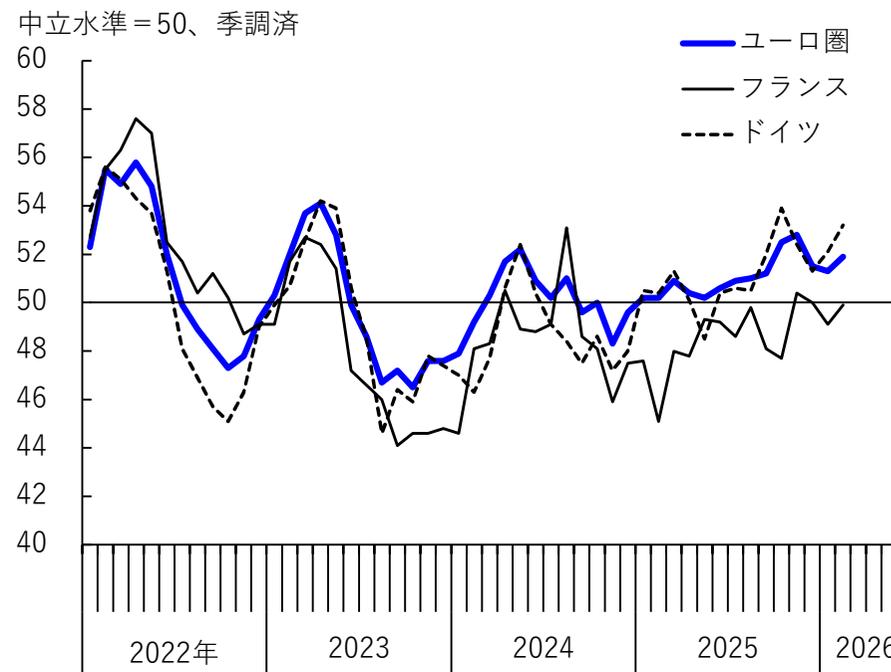
※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI



出所：S&Pグローバル

主要国のHCOB総合PMI

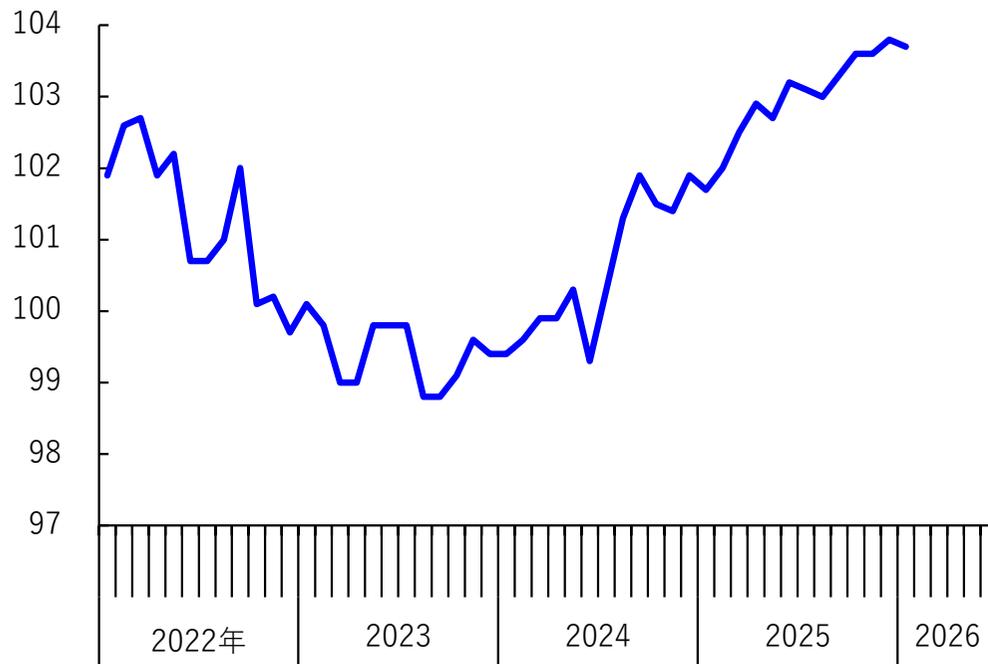


出所：S&Pグローバル

- 個人消費は足元で改善が足踏みしている。26年1月のユーロ圏小売売上高指数は前月比-0.1%と5か月ぶりに低下した。
  - ー財別には、自動車燃料が前月比-1.1%と大幅な低下に転じた。また、非食料品（除く自動車燃料）は同-0.2%と2か月連続で低下した。一方、食品・飲料・たばこは同+0.3%と2か月連続で上昇した。
- 消費マインドは改善基調で推移。2月のユーロ圏消費者信頼感指数は-12.2と前月（-12.4）から小幅に上昇した。

ユーロ圏小売売上高指数

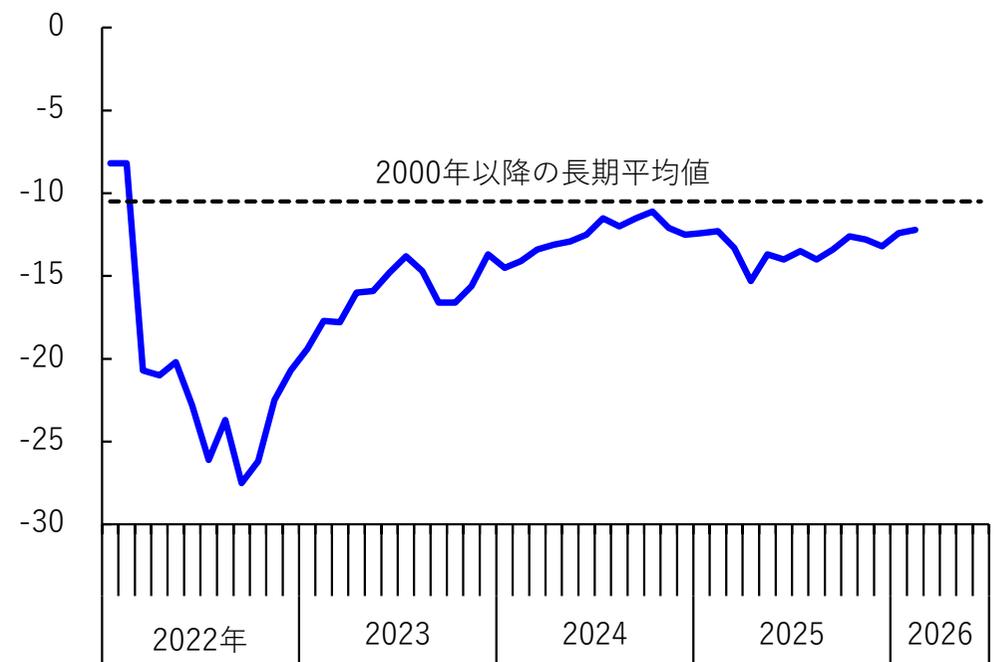
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数

ポイント、季調済

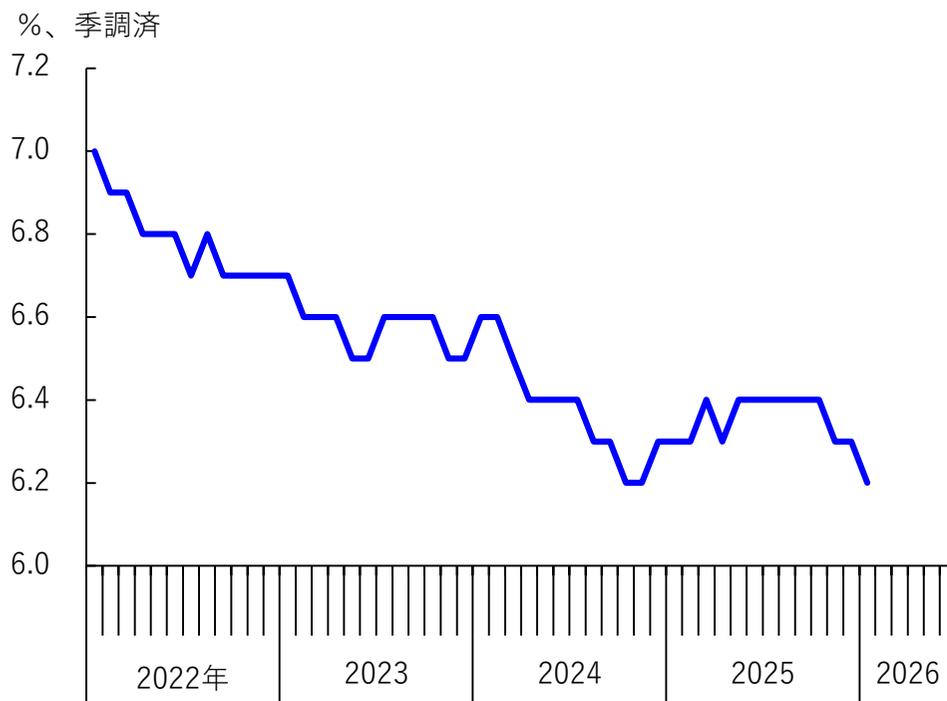


出所：欧州委員会



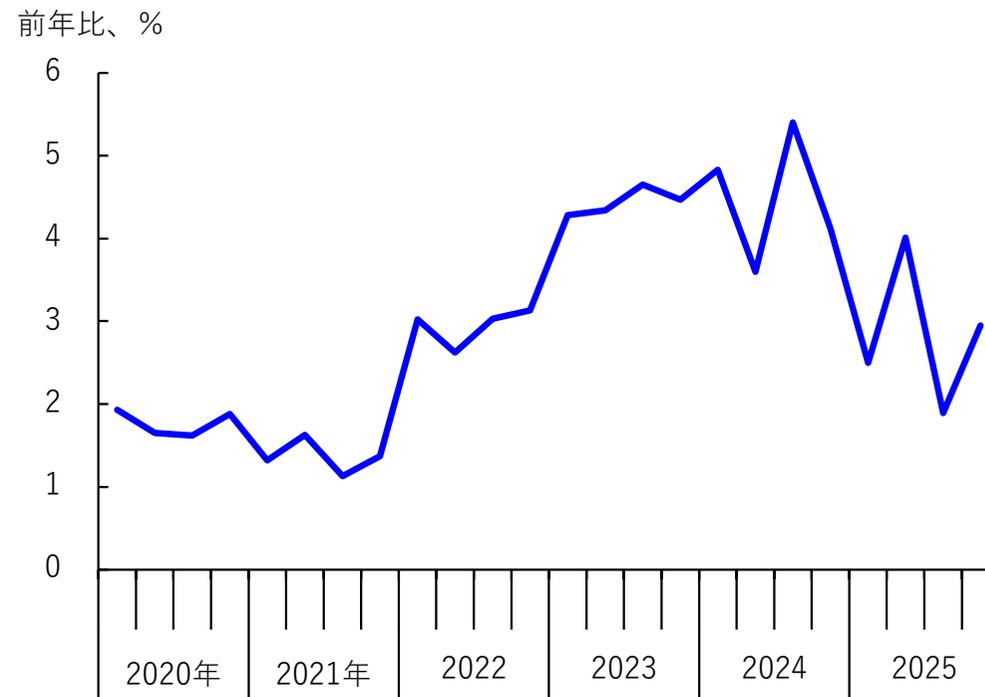
- 26年1月のユーロ圏の失業率は6.2%と、前月（6.3%）に比べて低下した。
  - ー フランスの失業率が7.7%と前月（7.8%）から低下した。一方、ドイツの失業率は4.0%と前月から横ばい。
- 労使交渉の結果を受けた妥結賃金は25年10~12月期に前年比+2.95%と、7~9月期の同+1.89%から伸びが加速した。
  - ー 妥結賃金の伸びの加速は、欧州中央銀行（ECB）が現時点で追加利下げの必要はないとする見方をサポートするものとなった。

ユーロ圏失業率



出所：欧州委員会統計局

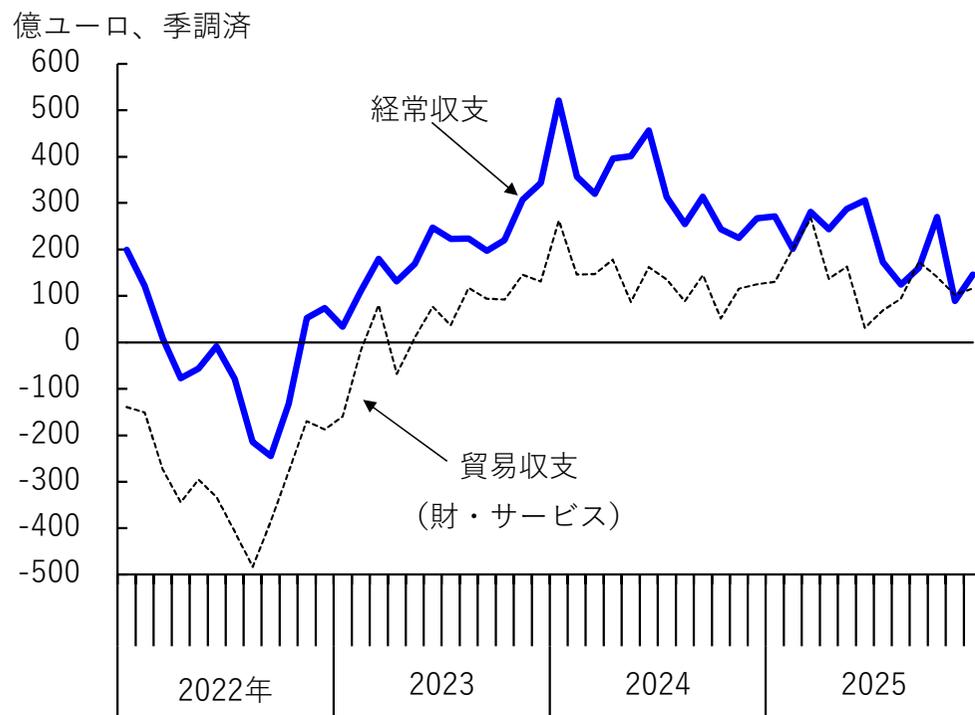
ユーロ圏妥結賃金



出所：欧州中央銀行

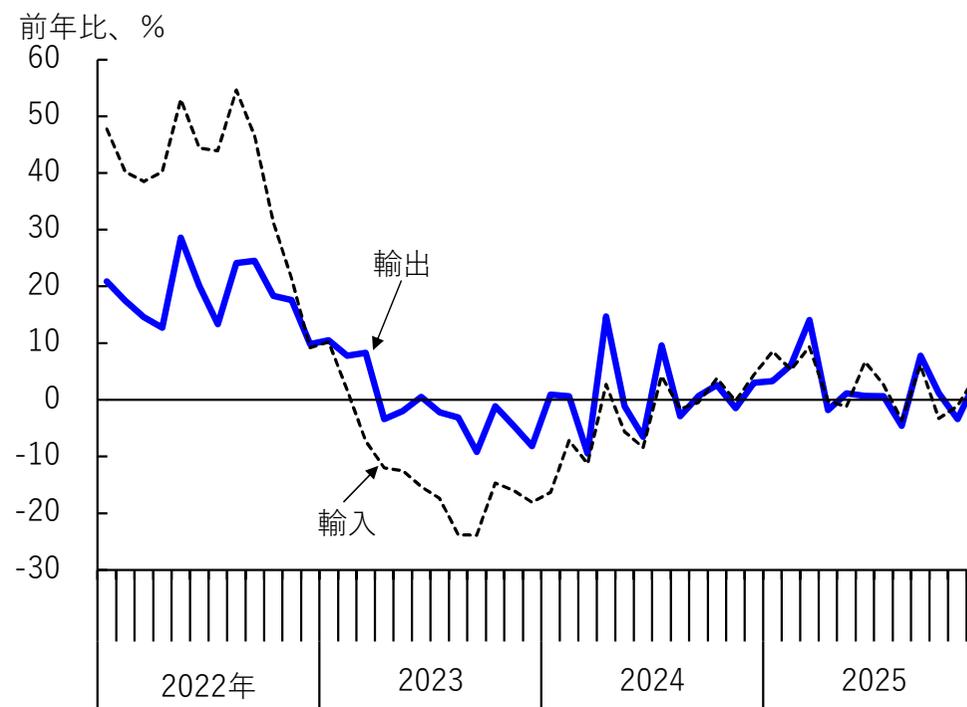
- 25年12月のユーロ圏の経常収支黒字（季調値）は146億ユーロと、前月（89億ユーロ）に比べて拡大した。また、同月のユーロ圏の貿易収支黒字（季調値）は116億ユーロと、前月（102億ユーロ）からやや拡大した。
  - 12月のユーロ圏の財の輸出（原数値）は前年比+3.4%と再び増加した。また財の輸入も同+4.2%と3か月ぶりに増加した。
- ーなお、季調値で見ると、12月は財の輸出が前月比+1.1%と増加するとともに、財の輸入も同+0.6%と増加した。

ユーロ圏経常収支



出所：欧州中央銀行、欧州委員会統計局

ユーロ圏の財の輸出入



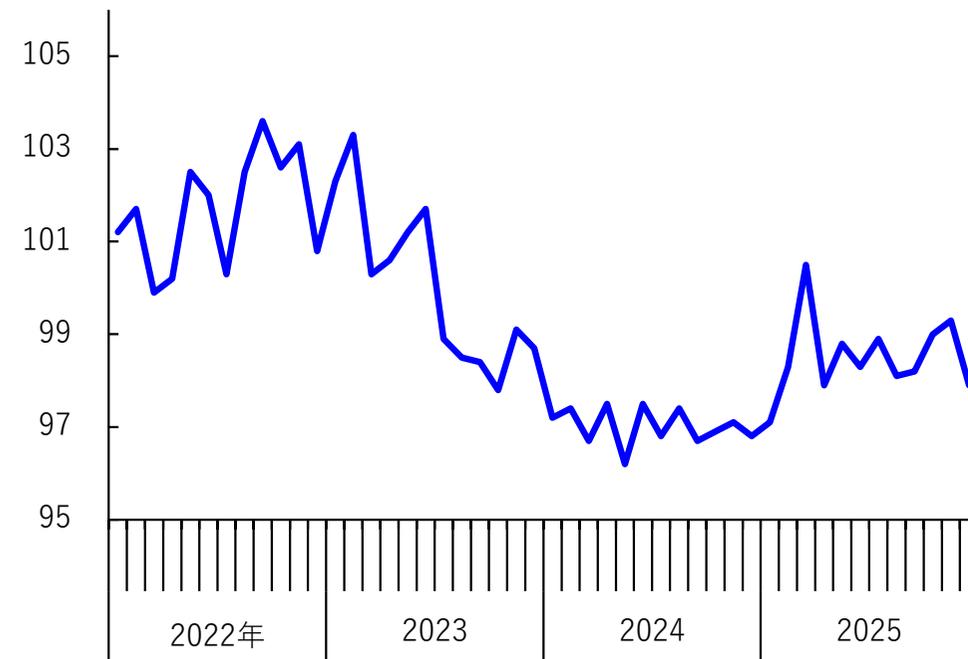
出所：欧州委員会統計局



- 企業の生産活動は改善が足踏みしている。25年12月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比-1.4%と4か月ぶりに低下した。
  - 財別にみると、資本財（前月比-1.9%）の指数が大幅に低下した。また、非耐久財（同-0.3%）やエネルギー（同-0.3%）はいずれも2か月連続で低下。国別には、ドイツ（前月比-2.9%）やフランス（同-0.7%）、スペイン（同-2.6%）などの指数が低下した。
- 建設活動は一進一退。12月のユーロ圏建設活動指数は前月比+0.9%と再び上昇した。
  - 国別にはドイツが前月比+3.0%と再び上昇するとともに、フランスも同+2.2%と上昇に転じた。

ユーロ圏鉱工業生産指数

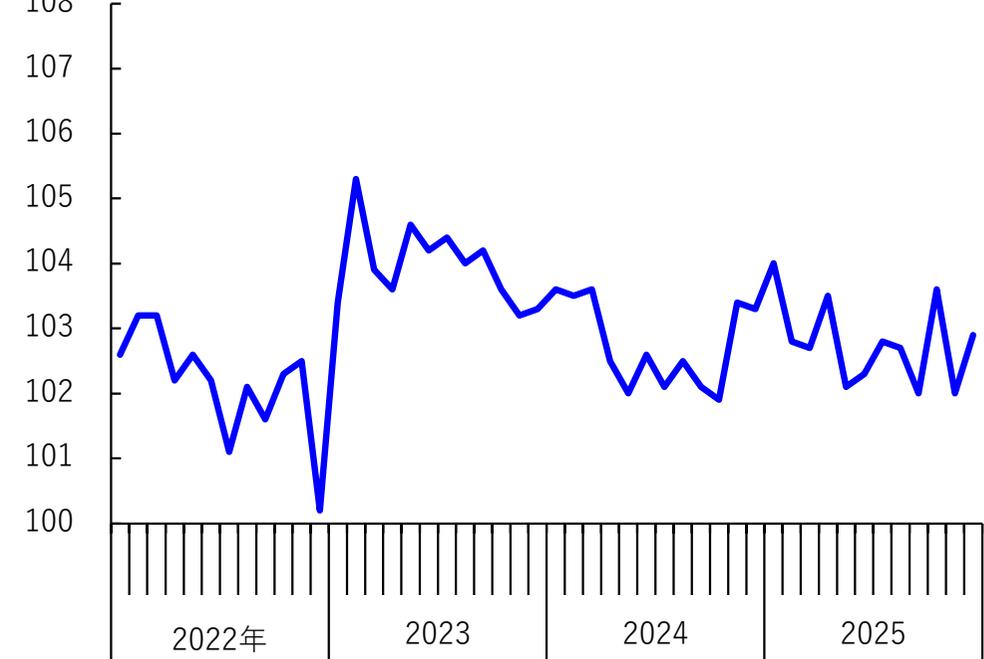
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏建設活動指数

2021年=100、季調済

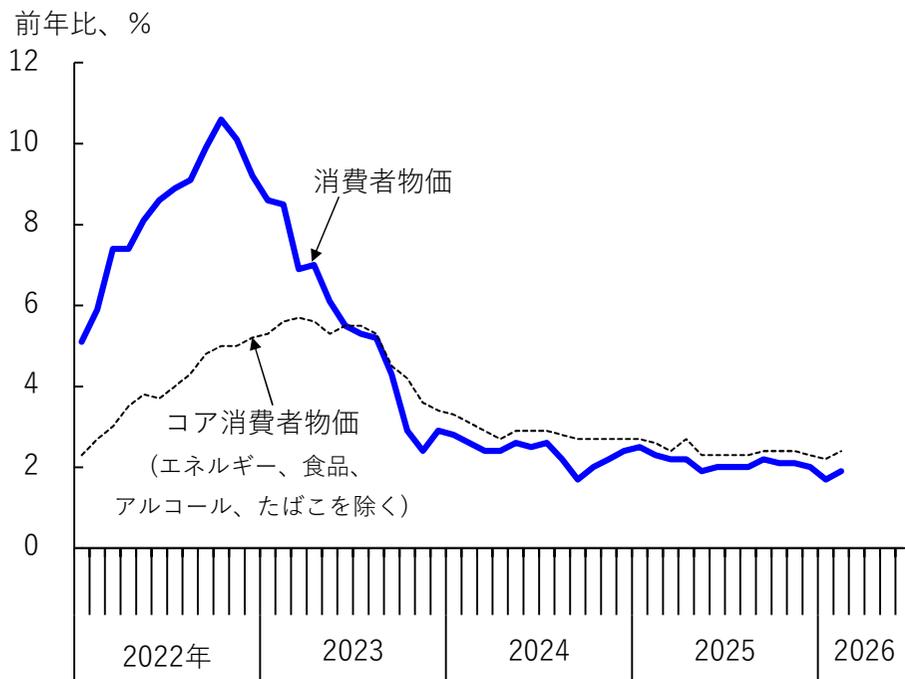


出所：欧州委員会統計局



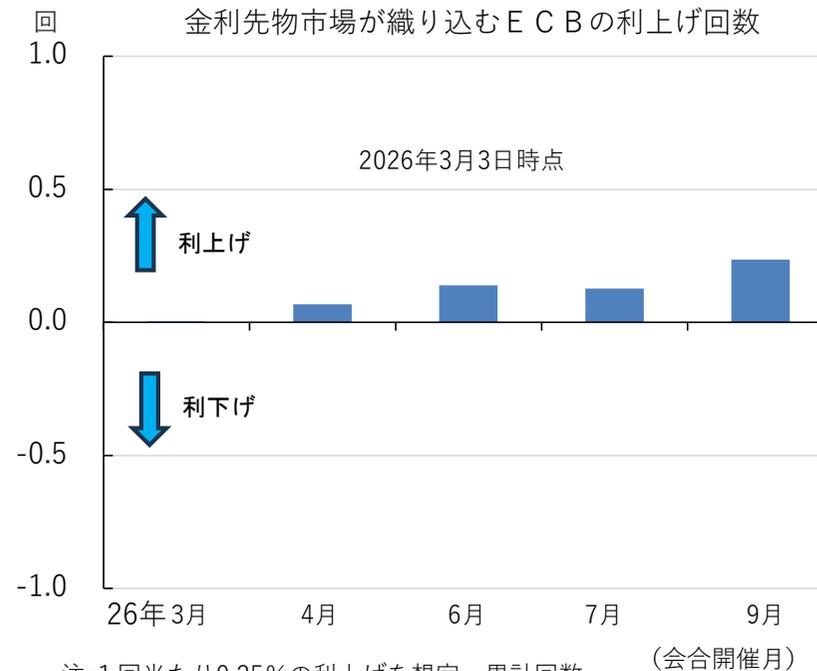
- 物価は安定的に推移している。26年2月のユーロ圏消費者物価指数は前年比+1.9%と、前月の同+1.7%から伸びが若干高まったものの、ECB（欧州中央銀行）が目標とする2%を引き続き下回った。
  - －品目別には、サービスが前年比+3.4%と前月（同+3.2%）から伸びがやや高まった。またエネルギーが同-3.2%と前月（同-4.0%）から下落幅が縮小した。
- ユーロ圏景気が緩やかに回復し、物価が落ち着いている中で、金利先物市場ではECBが当面は政策金利を据え置き、将来的には追加利下げではなく利上げに転じる可能性を織り込み始めている。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2026年2月は速報値。  
出所：欧州委員会統計局

金融市場の利上げ予想



注: 1回当たり0.25%の利上げを想定。累計回数。  
なお利下げの場合にはマイナス表記。

出所：Bloomberg



## 浜銀総合研究所



調査部 特任研究員  
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 [https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry\\_repo.html?nno=5](https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5)